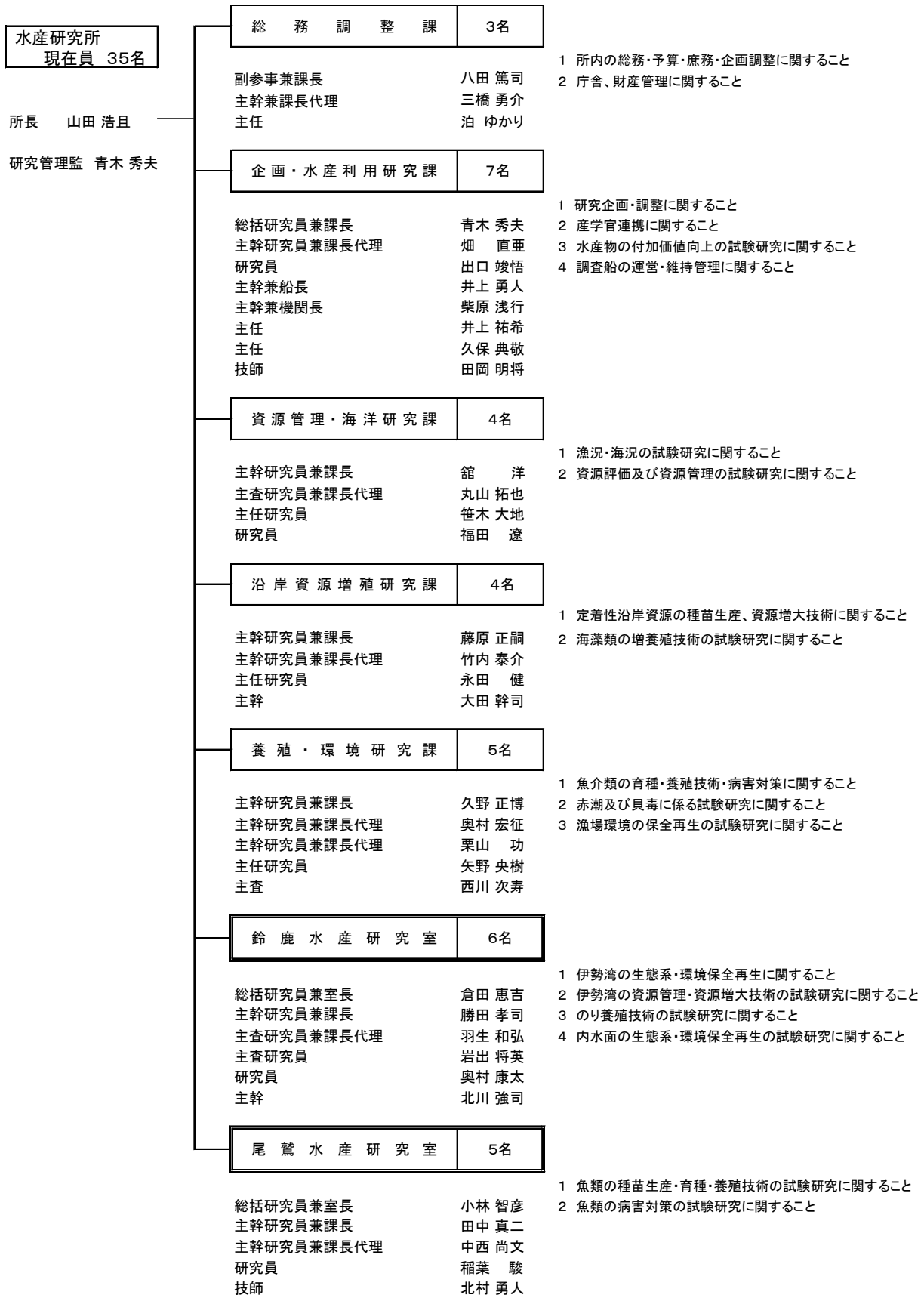


総務に関すること

令和2年度 水産研究所組織体制と事務分掌



令和2年度 水産研究所 事業概要

県単試験研究費

R2当初予算要求

事業名 新規事業はアンダーライン表示	事業概要	担当	実施年度
(施策 31102) 農林水産技術の研究開発と移転			
●水産関係県単経常試験研究費			
① 水産物付加価値向上研究事業	県産水産物の生物特性や季節変動を科学的に把握して高付加価値化の取り組みを支援する。また、未利用・低利用資源の新たな活用方法を探る。	企画・水産利用研究課	H31～R5
② (新規)イセエビ栽培漁業実証化事業	イセエビ幼生の量産化および飼育コスト削減技術を開発するとともに、生産した稚エビを活用してイセエビ加入資源の安定化に効果的な放流方法を開発する。	沿岸資源増殖研究課	R2～4
③ 英虞湾漁場環境基礎調査	英虞湾の水底質環境ならびに餌料プランクトンや赤潮プランクトンの消長等を調査し、英虞湾プランクトン速報として関係機関に情報提供するとともに、漁場環境の長期変動を把握する【一部志摩市補助】。	養殖・環境研究課	H25～R4
④ 内水面資源活用高度化研究事業	内水面漁業において最も重要な魚種であるアユを対象に、餌料環境調査や、冷水病対策およびカワウによる食害防止対策の情報収集と普及に取り組む。	鈴鹿水産研究室	H31～R3
⑤ (新規)三重県産養殖魚の産地間競争力強化技術開発	養殖魚の身質向上や飼料費削減、養殖魚種の多様化、生産量全国1位のマハタの安定生産など、三重県産養殖魚の産地間競争力を強化につながる技術の開発と普及に取り組む。	尾鷲水産研究室	R2～4

競争的資金等外部資金

事業名 新規事業はアンダーライン表示	事業概要	担当	実施年度
●水産業技術高度化研究開発推進事業費			
① 研究基盤向上	外部評価委員による研究評価委員会開催、調査設備等修繕、試薬廃棄などを実施する。	総務調整課/企画・水産利用研究課	H17～
② 資源・漁獲情報ネットワーク構築委託事業	伊勢湾をモデル海域とし、漁業情報(漁獲量、努力量等)を迅速に収集できる体制づくりを進めるとともに、漁獲と環境(水温等)の関連を明らかにすることで資源評価の精度向上や漁業の効率化を図る【水産庁委託】。	資源管理・海洋研究課	H30～R3
③ 青のり養殖に関する技術開発事業	需要が高まっている養殖青ノリ(ヒトエグサ)の増産のため、養殖網への種苗の付着状況を迅速かつ簡易に確認する技術開発等を行う【志摩市委託】。	沿岸資源増殖研究課	H29～R2
④ 三重県産マガキ種苗の安定確保対策事業	県内でこれまでに行われた天然採苗の知見を参考に、より効率的なマガキ天然採苗技術の開発を行い、県内産種苗の安定確保を図る【三重県カキ養殖広域水産業再生委員会委託】。	養殖・環境研究課	H30～R2
⑤ 地場種苗・健康診断・経営戦略でピンチをチャンスに変えるマガキ養殖システムの確立	地場採苗によるマガキの養殖試験をはじめ、新たに共同研究機関が開発する養殖技術や知見を活用して、高品質なシングルシードマガキ養殖手法を開発する【国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構委託】。	養殖・環境研究課	H30～R2
⑥ 希少な日本産アコヤガイの保全と採苗技術開発に関する試験研究事業	天然のアコヤガイが確認されている海域において生息調査を実施するとともに、天然採苗と飼育試験を行い、天然アコヤガイの保全手法の開発に取り組む【全国真珠養殖漁業協同組合連合会委託】。	養殖・環境研究課	H29～R2

競争的資金等外部資金(続き)

⑦ 耐病性や真珠品質にもとづくアコヤガイ選抜技術と育種素材の開発	国内の主要真珠生産漁場(三重県では英虞湾)において、耐病性や真珠品質にもとづく親貝の選抜等の技術開発を行う【国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構委託】。	養殖・環境研究課	H28～R2
⑧ 新規栽培対象種技術開発事業	伊勢湾の重要な水産資源であるハマグリについて、人工種苗の放流効果を高めるとともに、母貝の保護・増殖技術を開発することでハマグリ資源の維持・回復を目指します【水産庁委託】。	鈴鹿水産研究室	H31～R5
⑨ 環境変化に適応したノリ養殖技術の開発事業	低栄養状態でも色落ちしにくいノリ品種の実用化を進めるための室内培養試験および養殖試験を実施する。【水産庁委託】。	鈴鹿水産研究室	H30～R3
⑩ アサリ漁業復活のための大規模漁場整備・維持管理手法の開発	これまでに開発した碎石覆砂の漁場整備技術を活用して、大規模な漁場整備技術を確立するとともに、アサリの生残・成長が良好な漁場の維持管理手法の開発に取り組む【水産庁委託】。	鈴鹿水産研究室	H30～R2
⑪ 新魚種等の種苗生産技術高度化研究事業	種苗放流や養殖生産による漁業生産の拡大が期待されている新魚種(カワハギとマハタ)を対象として、優良種苗の安定供給を行うための種苗生産技術の高度化を進める【水産振興事業団委託】。	尾鷲水産研究室	H31～R2
●資源評価調査事業費 ① 資源評価調査事業	漁獲統計資料の解析、生物測定、調査船調査の結果により、イワシ類・アジ・サバ類・ブリ・マダイ・スルメイカ・トラフグ等の資源量を評価し、漁獲可能量(漁獲割当量)算出の基礎資料を収集する【水産庁委託】。	資源管理・海洋研究課	H12～
●日本周辺高度回遊性魚類資源調査事業費 ① 日本周辺高度回遊性魚類資源調査事業	マグロ類やカツオなどの高度回遊性魚類は国際的な資源管理体制の確立が必要となっているため、国を中心とした全国組織のもと、漁獲データや生物調査結果等の収集・解析を行う【水産庁委託】。	資源管理・海洋研究課	H13～
●熊野灘沿岸域における有害プランクトン優占化機構に関する研究費 ① 熊野灘沿岸域における有害プランクトン優占化機構に関する研究	熊野灘沿岸域における有害プランクトンの監視および長期的変遷と発生環境を把握するとともに、有害赤潮の形成メカニズムを解明し、有害赤潮による漁業被害の防止に資する【水産庁委託】。	養殖・環境研究課	H30～R4

管理費等

事業名 新規事業はアンダーライン表示	事業概要	担当	実施年度
●水産業試験研究管理費 ① 管理費	水産研究所の施設の管理運営を行う。	総務調整課	
●水産業研究施設機器整備費 ① 水産業研究施設機器整備費	水産研究所の研究施設や機器の整備を行う(R2年度は直流電流装置の更新)。	総務調整課	R1～2

水産振興課執行委任

事業名 新規事業はアンダーライン表示	事業概要	担当	実施年度
(14502) 農畜水産物の安全・安心の確保			
●消費者に安心される養殖水産物の生産体制整備事業費			
① 養殖衛生管理体制の整備	飼育管理技術の改善と水産用医薬品の適正利用を指導し、養殖衛生管理体制の整備を図る。	養殖・環境研究課/鈴鹿/尾鷲水産研究室	H15～
② 水産物の安全の確保	貝毒による食中毒を防止するため、貝毒プランクトン出現動態と二枚貝毒化に関する知見の収集と蓄積を図る。また、ヒラメクドアを含めた養殖水産動物および放流用種苗の有害微生物による汚染の検査とまん延防止対策指導を行う。	養殖・環境研究課/尾鷲水産研究室	S55～
(31401) 水産資源の維持・増大と競争力のある養殖業の構築			
●スマート水産業実証体制構築事業			
① <u>(新規)スマート水産業実証体制構築事業</u>	新技術の導入による作業の自動化・効率化など、生産性や所得の向上、働き方改革につながるスマート水産業の実現に向け、三重県を実証フィールドとして、産学官で課題を共有し、知見や技術をすり合わせて取り組む体制づくりを進める。	企画・水産利用研究課	R2～4
●海女による豊かな海づくり事業			
① <u>(新規)海女による豊かな海づくり事業</u>	サステイナブルな海女漁業を次世代に継承するため、海女自身が海の環境変化に対応した藻場の効果的な管理やアワビの増養殖、漁獲物の魅力向上などに取り組む「海女による豊かな海づくり」を推進する。	沿岸資源増殖研究課	R2～4
●次世代型海藻養殖による豊かな伊勢湾再生事業			
① <u>(新規)次世代型海藻養殖による豊かな伊勢湾再生事業</u>	伊勢湾での持続的な黒・青ノリ養殖技術開発・技術支援を行うとともに、ICTブイ、人工衛星、海洋観測等で得られた伊勢湾の黒・青ノリ漁場の海況情報を、生産者へ実用性の高い形式で配信・共有できる新たな藻類養殖支援のための海況情報配信プラットフォームの整備を目指す。	沿岸資源増殖研究課/鈴鹿水産研究室	R2～4
●環境調和型真珠養殖システム構築事業			
① <u>(新規)環境調和型真珠養殖システム構築事業</u>	持続的かつ環境に配慮した真珠養殖システムを構築し、サステイナブル、エシカルといった県産真珠のブランドイメージの向上を図ります。	養殖・環境研究課	R2～4
●真珠養殖におけるAI・ICTを活用したスマート化促進事業費			
① 真珠養殖におけるAI・ICTを活用したスマート化促進事業	優良技術の継承や真珠の生産性向上のため、優秀な養殖業者の養殖技術の見える化及びICT等を活用したスマート化や環境予測技術の開発、導入などの技術開発に取り組む。	養殖・環境研究課	H31～R3
●魚類養殖におけるAI・ICT技術導入促進事業費			
① 魚類養殖におけるAI・ICT技術導入促進事業	三重県の魚類養殖業において他産地との競争力の強化と生産効率の向上を進めるため、養殖生産管理の自動化と最適化を行うAI・ICT技術の開発及び普及を図る。	尾鷲水産研究室	H31～R3

フードイノベーション課執行委任

(施策31101) 新価値創出と戦略的プロモーションの展開			
●みえの食バリューチェーン構築事業			
① みえの食バリューチェーン構築事業	海藻等水産物の機能性成分の探索と機能性成分を活かした商品開発を行う。	企画・水産利用研究課/尾鷲水産研究室	H27～

水産資源管理課執行委任

(施策31401) 水産資源の維持・増大と競争力のある養殖業の構築			
●ICTを活用した新たな資源管理システム構築事業			
① ICTを活用した新たな資源管理システム構築事業	国が進める水産政策の改革に対応し、効果の高い三重県の沿岸水産資源の資源管理体制の実現を図るため、漁獲データを収集・解析し、資源評価委員会により、全国に先駆けた精度の高い資源評価を実施する。	資源管理・海洋研究課/沿岸資源増殖研究課/鈴鹿水産研究室	H31～R3
●資源管理体制・機能強化総合対策事業			
① 三重県沿岸資源動向基礎調査事業	本県の沿岸水産資源について、漁獲実態や生態的特性を調査し、資源評価を行うとともに、各地区で取り組まれている資源管理計画の効果を検証する。	資源管理・海洋研究課/沿岸資源増殖研究課/鈴鹿水産研究室	H27～

水産基盤整備課執行委任

(施策31403) 災害に強く生産性が高い水産基盤の整備と活力ある漁村の構築			
●県単沿岸漁場整備事業費			
① 熊野灘浮魚礁技術活用促進調査	浮魚礁の効果的な運用・活用方法の検討に資するため、浮魚礁設置海域周辺の流動環境、魚群の蟄集状況等を調査する。	資源管理・海洋研究課	H24～
●錦工区イセエビ増殖礁効果把握調査			
	イセエビ増殖礁に求められる稚エビの加入機能及び増殖機能の条件を調査する。	沿岸資源増殖研究課	R2～R4
●海女漁業等環境基盤整備事業			
① 漁港内水域を有効利用した藻類増養殖技術の開発	漁港内もしくは周辺の水域を活用して、有用海藻類の増養殖について実証試験を行う。	沿岸資源増殖研究課	H31～R3
② 漁港内水域を有効利用したアワビ類増殖技術の開発	漁港内の静穏水域において、コンクリート板を活用したアワビ類等の中間育成や増殖技術を開発する。	沿岸資源増殖研究課	H31～R3
●伊勢湾アサリ漁業環境基盤整備事業			
① アサリ資源調査	移殖用アサリ稚貝を採取する海域におけるアサリ稚貝の発生状況を調査するとともに、アサリに悪影響を及ぼすカイヤドリウミグモの生息状況を調査する。	鈴鹿水産研究室	H31～

雇用経済部ものづくり産業振興課執行委任

(施策32201) ものづくり基盤技術の強化・産学官連携の促進			
●文科省事業(エコシステム形成プログラム)			
① 深紫外LEDで創生される産業連鎖プロジェクト事業	深紫外LEDを用いた水産用海水の殺菌について、イセエビの飼育実験系などを用いて実証する。	沿岸資源増殖研究課	H29～R3